

## 平成30年度新肥料展示ほ成績書(園芸作物用)

### 1 展示ほ設置肥料

肥料の名称： 葉活酢  
 保証(含有)成分： 酢酸カルシウム 14% (カルシウムとして3.4%)  
 生産(依頼)業者： キューピー醸造株式会社

### 2 対象作物(品種)

作物名： トマト 品種名： 桃太郎ヨーク

### 3 担当者

普及センター名： 北淡路 担当普及員名： 緋山 瞳  
 連絡先： TEL 0799-62-0671 FAX 0799-62-2261

### 4 課題名と設置のねらい

課題名： 葉面散布剤によるトマト秀品率の向上  
 設置のねらい： 春先の尻腐れ果発生による秀品率低下が問題となっている。トマトの秀品率増加を目的に散布を行い、既存資材（他社Ca肥料）と効果を比較する。

### 5 展示ほの内容

設置場所： 淡路市尾崎

土壌統群名 または土性	地目	ほ場の乾湿	設置条件	設置面積(a)
ヤシガラ	その他	乾	同一・隣接 その他( )	合計： 18 展示区： 12 対照区： 6

### 6 耕種概要

前作物	当該ほ場の慣行の土地利用体系	栽培方法		その他特記事項
		植付け方法	基肥施肥方法	
トマト	その他(養液栽培)	ポット苗移植	無施用	畝の幅 150 cm 条数 2.0 条/畝  植付方法 手植え その他 樽栽培(4本/樽) 栽植本数: 4000本/18a

播種			移植		栽植密度				
区	播種日 (月/日)	播種量 (粒/10a)	区	移植日 (月/日)	移植方法	区	条間 (cm)	株間 (cm)	1㎡あたり 本数(本)
展示区	2017/12/5	2,200	展示区	2018/2/8	手植え	展示区	75.0	75.0	2.2
対照区	2017/12/5	2,200	対照区	2018/2/8	手植え	対照区	75.0	75.0	2.2

※ 果樹の場合は播種、移植の欄は記入不要です。また、栽植密度は10aあたりの本数を記入してください。

有機質資材の施用				土づくり肥料(資材)の施用		
区	種類 (下表より選ぶ)	施用量 (kg/10a)	施用時期 (年/月)	名称 (商品名を記入)	施用量 (kg/10a)	施用時期 (年/月)
展示区						
対照区						

#### 有機質資材一覧

1 乾燥牛ふん 2 乾燥豚ふん 3 稲わら堆肥 4 生牛ふん 5 おがくず牛ふん堆肥 6 馬ふん堆肥  
 7 パーク堆肥(尿素) 8 パーク入り鶏ふん堆肥 9 もみがら堆肥 10 稲わら 11 もみがら 12 小麦わら  
 13 れんげすきこみ 14 ソルゴーすきこみ 15 その他( )

その他特記事項: 養液はOATハウス1号および2号を期間中毎日施用(A処方)  
 施用量はN:100mg P:48mg K:160mg Ca:25mg (/株・日)  
 7~8段目で摘芯し、収穫を終える

#### 7 施肥

区分	肥料名	保証成分(%)				葉面散布(期間中週1回)				成分量(10aあたり)				
						l/10a				N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	その他	
		月/日	月/日	月/日	月/日	kg	kg	kg	kg					
展示区	葉活酢 (300倍)				3.4	4/3	~	~	5/29	0.0	0.0	0.0	0.25	
						0.8	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.00	
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           施用日:            4月3,10,17,24            5月1, 8, 15, 22, 29         </div>				0.0	0.0	0.0	0.00	
					0.0					0.0	0.0	0.0		
					0.0					0.0	0.0	0.0		
	合計					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
対照区	他社Ca肥料 (500倍)				7.8	4/3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.35
						0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.00	
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           施用日:            4月3,10,17,24            5月1, 8, 15, 22, 29         </div>				0.0	0.0	0.0	0.0	
					0.0					0.0	0.0	0.0		
					0.0					0.0	0.0	0.0		
	合計					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.35		

#### 8 展示ほ結果の概要と考察

本試験では、週1回のカルシウム葉面散布剤による尻腐れ果軽減効果を調査した。調査は立毛状態で2週間に1度、各区100株を調査した。施設内温度の上昇や乾燥によると考えられる尻腐れ果が、第3果房以降で発生した。展示区と対照区を比較すると、第3果房~第4果房では展示区の尻腐れ果発生率が対照区の発生率を下回っていた。第5、6果房では両区の尻腐れ果発生率に差はなかった。株の生育および果実サイズには差はなかった。その他果実の品質については、試験区と対照区で差はなかった(いずれも生産者の所感による)。資材が安価であり、既存資材と同等の効果を実感できたことが生産者に評価されている。以上により、葉活酢は慣行の葉面散布剤と同等以上の尻腐れ果抑制効果があると確認できた。

9 普及の可能性(今後の問題点)

評価	コメント(評価で2の場合は改良や検討を要する点、3の場合は具体的な理由を記入)
<input checked="" type="radio"/> 1 高い <input type="radio"/> 2 ある <input type="radio"/> 3 低い (数字を○で囲む)	
4 試験実施できず(その理由)	

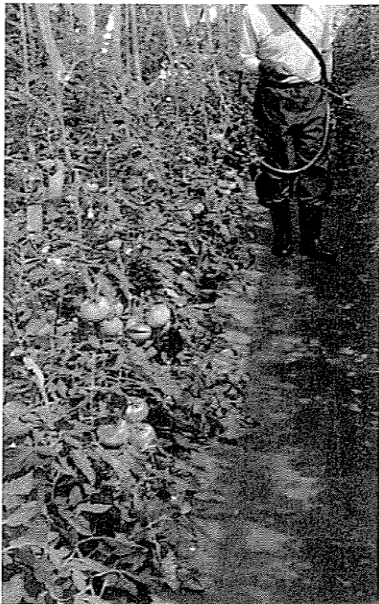
10 展示ほにおける具体的な数値(園芸作物用)

(1) 園芸作物生育・収量調査結果

調査時期	調査数 ( 各区100株 立毛調査 )					
	4月10日	4月25日	5月9日	5月23日	6月5日	
項目	尻腐れ果発生率(%)					
単位	第1果房	第2果房	第3果房	第4果房	第5果房	第6果房
展示区	0.0	0.0	8.8	7.2	5.5	3.7
対照区	0.0	0.0	12.7	10.2	5.8	3.4
比率	0.0	0.0	69.3	70.6	94.8	108.8

(2) 調査写真

試験区



対照区

